

学校名

海星中学校

校長名

木之下 悦朗

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価				学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評定(数値平均)			対策・改善点	評定(数値平均)			主な意見
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A	4	3.3	A	4	3.7		
			B	8		B	2			
			C			C				
			D			D				
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し改善に向けて努力している。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	7	3.6	A	3	3.5		
			B	5		B	3			
			C			C				
			D			D				
3	(2)	子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	8	3.7	A	5	3.8		
			B	4		B	1			
			C			C				
			D			D				
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	8	3.6	A	3	3.6		
			B	5		B	2			
			C			C				
			D			D				
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	8	3.7	A	3	3.6		
			B	4		B	2			
			C			C				
			D			D				
6	(4)	教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	7	3.6	A	4	3.8		
			B	5		B	1			
			C			C				
			D			D				
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	9	3.8	A	4	3.8		
			B	3		B	1			
			C			C				
			D			D				
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	7	3.6	A	2	3.4		
			B	5		B	3			
			C			C				
			D			D				
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	5	3.3	A	4	3.7		
			B	6		B	2			
			C	1		C				
			D			D				
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	9	3.8	A	5	4.0		
			B	3		B				
			C			C				
			D			D				

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)				学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価(数値平均)			対策・改善点	評価(数値平均)			主な意見
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が効果的に行われ、成果が現れている。	段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A	4	3.3	A	3	3.5		
			B	8		B	3			
			C			C				
			D			D				
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	6	3.5	A	3	3.5		
			B	6		B	3			
			C			C				
			D			D				
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	2	3.2	A	3	3.6		
			B	7		B	2			
			C			C				
			D			D				
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	4	3.3	A	5	3.8		
			B	7		B	1			
			C	1		C				
			D			D				
15	(8)	職員はPTA行事や地域行事に積極的に参加している。	段階	人数	平均	段階	人数	平均		
			A	10	3.8	A	3	3.6		
			B	2		B	2			
			C			C				
			D			D				

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均（小数第1位まで）

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均（小数第1位まで）

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

【職員と委員の評価の差が顕著な項目】	
「4 いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。」 日常の取組として、子どもにできるだけ関わったり、心に届く授業、感謝の気持ちや自己有用感を実感できる掲示物を掲示したりして、子どもが気がねなく、意思表示できる環境づくりに取り組んでいる。また、職員も一丸となって、保護者との連携を図りながら進めているので、周知されていないことが課題である。今後、情報発信に努めたい。	
「8 学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。」 学校では、生徒が学習で利用する全教室への空調設備設置を市に要望してはいるが、予算が伴うため、設置されるまで機会があるごとに要望を伝えていきたい。	
「10 保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。」 学校としては、多くの保護者が、教育活動に参加していただきありがたく思っているが、保護者全員が協力して学校を盛り上げていくべきだきだという委員の皆様の強い思いが伝わり、改めて子供のために、更なる努力を重ねていきたいと思った。	
「13 英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。」 英語の授業では、コミュニケーション活動の他に、文法やスピーキング、リーディング、ライティングなど多くのことを学ぶため適時適正な時期に個々の特性に即した対応している。次回の参観は、13の観点の重点をおいた授業を行うように配慮したい。	